



校種・教科別ICT活用事例一覧表 (小学校・音楽)

(小学校学習指導要領(H29告示)解説音楽編を基に作成)

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
A 表現	(1) 歌唱の活動	p31 ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつこと。 調査活動	p59 ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと。	p88 ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと。	それぞれの歌の中でどこが一番盛り上がる部分なのか、意見を入力し合い、共通点や相違点について分類してまとめる。		
		p33 ウ 思いに合った表現をするために必要な…(中略)…技能を身に付けること。 個に応じた学習	p61 ウ 思いや意図に合った表現をするために必要な…(中略)…技能を身に付けること。	p90 ウ 思いや意図に合った表現をするために必要な…(中略)…技能を身に付けること。	自分の歌声を録画して振り返ったり、範唱の動画と比較したりすることで客観的に自分の課題を見付ける。 他人や他グループの録画した歌声を再生しながら歌の練習を行う。		
		p37 ア 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつこと。 個に応じた学習	p65 ア 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと。	p94 ア 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと。	自分の演奏を録画して振り返ったり、模範の動画と比較したりすることで客観的に自分の課題を見付ける。 思考を深める学習 演奏できるアプリケーションソフトなどを活用し、打楽器、和楽器、諸外国に伝わる様々な楽器に慣れ親しむ。		
	(3) 音楽づくりの活動	p43 ア 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら…(中略)…できるようにすること。 思考を深める学習 表現・制作 発表や話し合い	p71 ア 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら…(中略)…できるようにすること。	p101 ア 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら…(中略)…できるようにすること。	演奏できるアプリケーションソフトなどを活用し、その場で様々な音を選んだりつなげたりして表現して発表する。 学校の壁を越えた学習 表現・制作 遠隔授業を行い、遠隔地や海外の学校、学校外の音楽家等と音楽を通して交流し、共同で音楽作品等を制作する。		
		p50 イ 曲想と音楽の構造との関わりについて気付くこと。 意見整理	p79 イ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付くこと。	p108 イ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解すること。	(1) 鑑賞の活動 演奏している場面を見て、感じ取ったことや気付いたことを入力し、分類してまとめる。 個に応じた学習 鑑賞曲の特徴的な部分やもう一度聴きたい部分を繰り返し聴いて鑑賞する。 表現・制作 発表や話し合い 自分の聴いた曲で印象に残った部分を切り取ってプレゼンテーションソフトなどを活用して編集し、感想とともに発表する。 調査活動 インターネットを活用して、鑑賞の活動で扱う曲や楽器などについて情報収集する。		
	障害のある児童への配慮	p122 音楽を形づくっている要素(リズム、速度、旋律、強弱、反復等)の聴き取りが難しい場合は、要素に着目しやすくなるよう、音楽に合わせて一緒に拍を打ったり体を動かしたりするなどして、要素の表れ方を視覚化、動作化するなどの配慮をする。なお、動作化する際は、決められた動きのパターンを習得するような活動にならないよう留意する。 個に応じた学習	シミュレーションソフトを活用し、リズム、速度、旋律、強弱、反復等の要素の表れ方を視覚化できるようにする。				
p122 多くの声部が並列している楽譜など、情報量が多く、児童がどこに注目したらよいか混乱しやすい場合は、拡大楽譜などを用いて声部を色分けしたり、リズムや旋律を部分的に取り出してカードにしたりするなど、視覚的に情報を整理するなどの配慮をする。 個に応じた学習 思考を深める学習		色分けされた画面上の楽譜の声部やリズム、旋律を拡大して見せることで、視覚的に情報を理解できるようにする。					